

第 6 事 業 年 度
事 業 計 画 書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

一 般 社団法人 日本海さけ・ます増殖事業協会

〒066-0028
千歳市花園1丁目6番地
TEL 0123(26)2846 FAX 0123(26)2847
keison@poppy.ocn.ne.jp
<http://www.nihonkai-sake-masu.or.jp>

目 次

基本的な考え方	1
第1 事業の概要	2
1 捕獲採卵事業及びふ化放流事業	2
2 増殖施設整備事業	2
3 河川環境保全対策事業	3
4 試験調査事業	3
5 密漁防止対策事業	3
6 教育研修活動事業	3
7 さけ・ます種苗放流手法改良調査事業	4
8 さけ・ますふ化放流抜本対策事業	4
9 その他事業	4
第2 平成30年度 会費等の額及び徴収方法	5
第3 平成30年度 収支予算書	9
別表 1	平成30年度さけ増殖事業計画
別表 2	平成30年度さくらます増殖事業計画
別表 3	平成30年度さくらます幼魚放流計画

事業計画の基本的考え方

昨年度の管内における秋サケ定置網漁獲は、予測を上回る数値で推移しましたが最終的には110万尾の平年数値で終漁しました。

一方、金額では税抜29億8千万円となり、平成2年の31億5千万円に次ぐ好結果となりました。

資源の造成増殖事業は前期中心型から中期資源を組入れた手法を進めながら、行政並びに試験研究機関のご指導助言を頂きながら放流適期々間の幅に合わせた健苗育成放流体制を継続いたします。

また、北海道増協が窓口となって進めている放流手法改良調査事業と北海道区水産研究所が主体となって進められるふ化放流抜本対策事業は、いずれも資源低迷解決策の一環として進められており、北海道区水産研究所八雲さけます事業所の協力の下に耳石施標を行うと共に受託事業として京極ふ化場においても耳石施標を行い、標識稚魚放流後の降下調査を継続致します。

また、サクラマス資源については、河川遡上親魚による種卵確保体制を組み、行政並びに試験研究機関のご指導ご支援を頂きながら体制の充実化を進めてまいります。

資源回復のためのふ化技術の高度化については、引続き試験研究機関のご指導と助言を頂きながら地域に合わせた技術の取組みを進めてまいります。

野生魚生息域の向上、稚魚の河川降下の助長などに影響する河川環境保全対策については、北海道漁業環境保全対策本部と連携し、河川環境改善に向けた取組みを進めると共に、河川内不法行為に対する防衛手段として監視カメラの設置や警備機関と連携して巡回啓発等を実施してまいります。

道の「さけ・ます人口ふ化放流計画中期策定方針」に合わせて道増協主宰の地区別増殖事業中期計画が平成29年度からスタートしておりますが、本協会も資源の回復と収支バランスのとれた体制作りを目指してまいります。

来遊資源の底上げ、財務強化、河川環境対策、等々について効率的推進を図り、サケ、サクラマス資源造成計画達成に向けて遂行してまいりますので、会員各位の一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

第 1 事 業 の 概 要

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業

(1) 捕獲採卵事業

北海道が定めたふ化放流計画に基づき、事業河川 8 河川において、さけます・内水面水産試験場並びに北水研さけます事業所の助言・指導を頂きながら良質種卵確保を実施します。

さけについては、事業河川の千歳・尻別は直轄方式とし、余市・野東・利別・厚沢部・天のに加えて本年度から相沼内が事業河川に組替になり、6 河川を地元漁協に依頼し委託方式で実施致します。

なお、補完河川については種卵不足が見込まれる場合に確保体制を組む事と致します。

また、さくらますの種卵確保は地元漁協の協力のもとに、北水研さけ・ます事業所並びにさけます・内水面水産試験場の指導助言を頂いて遡上系のみで種卵確保を実施致します。

(別表 1 平成 30 年度 さけ増殖事業計画)

(別表 2~3 平成 30 年度 さくらます増殖事業計画)

魚 種	地 区	親魚捕獲計画数 (尾)	採卵計画数 (千粒)
さ け	中 部	86,200	82,200
	南 部	64,600	65,700
	計	150,800	147,900
さくらます	中 部	250	300
	南 部	2,290	2,930
	計	2,540	3,230

(2) ふ化放流事業

さけ・ますふ化放流事業を合理的・効果的に展開するため、北水研さけ・ます事業所並びにさけます・内水面水産試験場の助言・指導を頂きながら健苗育成と適期放流に努めます。

(別表 1 平成 30 年度 さけ増殖事業計画)

(別表 2~3 平成 30 年度 さくらます増殖事業計画)

魚 種	地区	稚 魚 放 流 計 画 数 (千尾)		
さ け	中部	50,500		
	南部	82,400		
	計	132,900		
さくらます	地区	稚 魚・幼 魚 放 流 計 画 数 (千尾)		
		0+春	0+秋	1+春
	中部	96	10	95
	南部	1,579	80	434
	計	1,675	90	529

2. 増殖施設整備事業

適期の健苗放流を行うため老朽化が著しい施設・設備について部分的補修を実施すると共に、

道及び（公社）北海道増協等の支援を受けて整備を行います。

また、地元単独で補修計画を進めている施設について助成事業を施行します。

直轄事業

(単位：円)

施設名	整備実施内容	事業費	事業費内訳			
			道補助金	道増協	地元	本会
京極ふ化場	飼育用水ポンプ（4台更新）	5,000,000	0	2,500,000	0	2,500,000
真狩ふ化場	飼育池自動清掃装置（8台更新）	14,000,000	3,500,000	3,500,000	0	7,000,000
	自動検卵装置（新規）	3,800,000	950,000	950,000	0	1,900,000
設計監理費・飼育用測定機器		600,000	0	0	0	600,000
合計		23,400,000	4,450,000	6,950,000	0	12,000,000

助成事業

(単位：円)

施設名	整備実施内容	事業費	事業費内訳			
			道補助金	道増協	地元	本会
古平ふ化場	飼育池堰板（更新）	600,000	0	0	300,000	300,000
寿都ふ化場	養魚池ネットリング（新規）	1,700,000	0	0	850,000	850,000
相沼内ふ化場	飼育池補修（2面池底・壁）	4,000,000	0	0	2,000,000	2,000,000
合計		6,300,000	0	0	3,150,000	3,150,000

3. 河川環境保全対策事業

管内の増殖河川の河川改修など河川関連工事による濁排水や農業排水などの水質等について、北海道漁業公害対策本部など関係機関と連携して巡回を行い、環境保全に取り組めます。

4. 試験調査事業

さけ・ます資源の底上げを図るには、健全な親魚からの良質種卵の確保や生産された健苗の強靱性と適期放流が要求されることから、管内の飼育期及び放流時毎の水温・D_o等の環境調査について、北水研さけます事業所並びにさけます・内水面水産試験場などの関係機関の指導を頂きながら調査を行います。

5. 密漁防止対策事業

管内増殖河川における不法漁獲の未然防止について、関係機関の協力を得て広く啓発活動を展開すると共に、盗難防止用カメラの設置や警備会社へ委託して巡回を実施します。

6. 教育研修活動事業

さけ・ます資源増大を図るには河川や河口沿岸帯の自然環境に適合した生存率の高い健苗が

求められることから、北水研さけます事業所、さけます・内水面水産試験場、(公社)道増協が主催する研修会に参加するとともに、関係機関の指導を頂きながら地域の特性に応じた手法・知見を取り入れるための研修会を実施し、技術の高度化に努めます。

7. さけ・ます種苗放流手法改良調査事業

資源回復に向け、地域に適した効果的な放流手法への移行を図るための耳石温度標識放流を実施するもので、国の民間さけ・ます増殖事業の支援事業として(公社)道増協が事業主体となって実施致しますが、本年度計画の達成について事業遂行します。

8. さけ・ますふ化放流抜本対策事業

放流後の河川や沿岸での減耗を回避するための技術開発や、健康性の高い種苗を育成する手法開発等について北水研が主体となって実施致しますが、本会も耳石温度標識放流調査事業の委託を受けて実施するものであり、計画達成をめざして事業遂行に努めます。

9. その他事業

さけ・ます増殖事業を通して自然環境の重要性について理解を得るため、さけ科学館、さけのふるさと水族館及び各地の増殖河川に関係する自然を守る会などへ親魚並びに種卵の提供を行い、社会体験型教育並びに河川環境保全維持のため積極的に協力します。

第 2 平成30年度 会費等の額及び徴収方法

1. さけ

(1) 漁業者会費(35,000千円+漁獲高割3.9%)

さけ定置漁業者を対象とし、別紙1の内訳表のとおり負担願います。

- ① 統数割等 1ヵ統23,000円×259ヵ統=5,957千円と漁獲高割基準による29,043千円。
- ② 漁獲高割 さけ漁獲金額(消費税抜き)の3.9%の割合で漁協別に負担願います。

(2) 漁協会費(460千円)

9漁業協同組合を対象とし、別紙1の内訳表のとおり負担願います。

(3) 特別負担金(6,000千円)

施設整備事業実施のため、9漁業協同組合を対象とし、別紙1の内訳表のとおり負担願います。

(4) 市町村会費(27,500千円)

2市11町3村を対象とし、別紙2の内訳表のとおり負担願います。

- ① 均等割 500千円×1市10町3村=7,000千円
1,000千円×1市1町=2,000千円
- ② 漁獲高割 均等割負担額の差引に対し、市町村別に18,500千円

2. サクラマス

(1) 漁協別負担金(5,400千円)

7漁業協同組合を対象とし、別紙3の内訳表のとおり負担願います。

(2) 漁業者賦課金(3.0%)

漁獲高(消費税抜き)の3.0%の割合で漁協別に負担願います。

(3) 市町村負担金(4,825千円)

10市町村を対象とし、別紙3の内訳表のとおり負担願います。

3. 徴収方法

- (1) 漁業者、漁協及び市町村の定額会費等は7月末日までに本協会が指定する口座に納入願います。
- (2) さけ及びサクラマス漁獲高割会費は、当月分の漁獲高に応じて翌月15日までに本協会が指定する口座に納入願います。

○ 漁協・漁業者会費内訳表

(単位:千円)

漁協名	漁業者会費の基準						合 計
	漁協別 会 費	統数割		漁獲高割			
		統 数	金 額	3ヶ年平均 漁獲高	比率	金 額	
石狩湾	60	15	345	519,350	47.6%	13,824	14,229
小樽市	20	13	299	66,931	6.1%	1,772	2,091
余市郡	20	11	253	80,430	7.4%	2,149	2,422
東しゃこたん	60	21	483	33,815	3.1%	900	1,443
古宇郡	60	37	851	42,786	3.8%	1,103	2,014
岩内郡	20	53	1,219	91,696	8.4%	2,440	3,679
寿都町	20	48	1,104	74,104	6.8%	1,975	3,099
島牧	40	26	598	39,556	3.6%	1,046	1,684
ひやま	160	35	805	143,930	13.2%	3,834	4,799
計	460	259	5,957	1,092,598	100.0%	29,043	35,460

○ 特別負担金内訳表

(単位:千円)

漁協名	負担金の基準		
	3ヶ年平均 漁獲高	比率	金 額
石狩湾	519,350	47.6%	2,856
小樽市	66,931	6.1%	366
余市郡	80,430	7.4%	444
東しゃこたん	33,815	3.1%	186
古宇郡	42,786	3.8%	228
岩内郡	91,696	8.4%	504
寿都町	74,104	6.8%	408
島牧	39,556	3.6%	216
ひやま	143,930	13.2%	792
計	1,092,598	100.0%	6,000

※ 施設整備事業の実施のため

○ 市町村会費内訳表

(単位:千円)

市町村名	通常負担額の基準			備 考
	均等割	漁獲高割 金 額	合 計	
石狩市	1,000	8,806	9,806	
小樽市	500	1,129	1,629	
余市町	500	1,369	1,869	
古平町	500	518	1,018	
積丹町	500	55	555	
神恵内村	500	185	685	
泊村	500	518	1,018	
岩内町	500	1,554	2,054	
寿都町	500	1,258	1,758	
島牧村	500	666	1,166	
せたな町	1,000	1,221	2,221	
八雲町 (熊石地区)	500	241	741	
乙部町	500	204	704	
江差町	500	462	962	
上ノ国町	500	314	814	
奥尻町	500	0	500	
計	9,000	18,500	27,500	

○ 漁協別負担金内訳表

(単位:千円)

漁協名	負担金額	備 考
小樽市	600	
余市郡	600	
東しやこたん	1,200	
古宇郡	1,200	
岩内郡	600	
寿都町	600	
島牧	600	
計	5,400	

○ 市町村負担金内訳表

(単位:千円)

市町村名	負担金額	備 考
小樽市	500	
余市町	500	
古平町	500	
積丹町	500	
神恵内村	500	
泊村	500	
蘭越町	325	
岩内町	500	
寿都町	500	
島牧村	500	
計	4,825	

第 3 収 支 予 算 書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
②受取会費	111,500,000	108,500,000	3,000,000
正会員受取会費	62,500,000	62,500,000	0
漁獲高割受取会費	43,000,000	40,000,000	3,000,000
特別受取会費	6,000,000	6,000,000	0
③事業収益	69,700,000	74,000,000	△ 4,300,000
親魚捕獲採卵事業収益	37,000,000	36,000,000	1,000,000
種苗放流手法改良調査事業収益	22,000,000	28,900,000	△ 6,900,000
種苗評価調査事業収益	1,100,000	1,100,000	0
ふ化放流抜本対策事業収益	9,600,000	8,000,000	1,600,000
④受取補助金等	148,262,667	145,864,267	2,398,400
地方公共団体補助金	5,000,000	5,000,000	0
受取国庫補助金振替額	6,262,667	3,864,267	2,398,400
受取道増協支援事業費	137,000,000	137,000,000	0
⑤受取負担金	14,460,000	14,460,000	0
サクラマス受取負担金	11,100,000	11,100,000	0
サクラマス受取協力負担金	1,500,000	1,500,000	0
受取特別負担金(施設)	0	0	0
刺網調査漁獲受取負担金	1,400,000	1,400,000	0
漁協別受取負担金	460,000	460,000	0
⑥受取寄付金	0	0	0
⑦雑収益	300,000	300,000	0
受取利息	100,000	100,000	0
雑収益	200,000	200,000	0
経常収益計	344,222,667	343,124,267	1,098,400
(2) 経常費用			
①事業費			
役員報酬	4,320,000	4,320,000	0
給料手当	39,441,000	39,441,000	0
臨時雇賃金	20,096,000	20,096,000	0
退職給付費用	1,899,000	1,566,000	333,000
法定福利費	9,063,000	9,063,000	0
福利厚生費	600,000	600,000	0
会議費	450,000	450,000	0
旅費交通費	3,732,000	3,732,000	0
通信運搬費	1,358,000	1,358,000	0
施設補修費	8,606,000	8,606,000	0
施設整備費	3,750,000	5,300,000	△ 1,550,000
消耗資材費	16,979,000	16,979,000	0
借上費	5,054,000	5,054,000	0
燃料費	4,861,000	4,861,000	0
光熱水料費	11,314,000	11,314,000	0
車輻費	7,245,000	7,245,000	0
保険料	1,161,000	1,161,000	0
親魚等販売諸費	50,000	50,000	0
租税公課	4,685,000	4,685,000	0
支払負担金	12,000,000	15,000,000	△ 3,000,000
委託費	112,000,000	112,000,000	0
減価償却費	16,212,000	12,491,000	3,721,000
雑費	1,025,000	1,025,000	0
事業費計	285,901,000	286,397,000	△ 496,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
②管理費			
役員報酬	2,880,000	2,880,000	0
給料手当	4,383,000	4,383,000	0
臨時雇賃金	2,670,000	2,670,000	0
退職給付費用	212,000	174,000	38,000
法定福利費	1,476,000	1,476,000	0
福利厚生費	200,000	200,000	0
会議費	580,000	580,000	0
旅費交通費	3,380,000	3,380,000	0
通信運搬費	701,000	701,000	0
保険料	100,000	100,000	0
消耗品費	300,000	300,000	0
印刷製本費	400,000	400,000	0
光熱水料費	510,000	510,000	0
車輻費	320,000	320,000	0
広告宣伝費	80,000	80,000	0
租税公課	2,730,000	2,130,000	600,000
支払負担金	30,220,000	27,220,000	3,000,000
支払利息	60,000	60,000	0
賃借料	300,000	300,000	0
減価償却費	141,000	212,000	△ 71,000
雑費	610,000	610,000	0
管理費計	52,253,000	48,686,000	3,567,000
経常費用合計	338,154,000	335,083,000	3,071,000
当期経常増減額	6,068,667	8,041,267	△ 1,972,600
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
① 固定資産受贈益	0	0	0
建物受贈益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
① 固定資産除却損	0	0	0
工具器具備品	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,068,667	8,041,267	△ 1,972,600
一般正味財産期首残高	178,131,691	140,492,566	37,639,125
一般正味財産期末残高	184,200,358	148,533,833	35,666,525
II 指定正味財産増減の部			
(1) 増加の部			
受取補助金等			
地方公共団体施設整備補助金	11,400,000	4,000,000	7,400,000
増加の部計	11,400,000	4,000,000	7,400,000
(2) 減少の部			
一般正味財産への振替額	6,262,667	3,864,267	2,398,400
減少の部計	6,262,667	3,864,267	2,398,400
当期指定正味財産増減額	5,137,333	135,733	5,001,600
指定正味財産期首残高	31,200,213	23,866,480	7,333,733
指定正味財産期末残高	36,337,546	24,002,213	12,335,333
III 正味財産期末残高	220,537,904	172,536,046	48,001,858

予算書に対する注記

(1) 借入限度額 10,000,000円

年度内において会費等の入金が遅延した場合には、一時短期借入をもって対処したい。

(2) 債務負担額 0円

平成30年度さけ増殖事業計画

海区	地区	水系	捕獲数 (千尾)	採卵数 (千粒)
日本海	中部	益田	76,400	72,500
		厚田	9,800	9,700
		千歳市		
		余市		
		(古平)		
	計	86,200	82,200	
	(古宇)	野東	11,800	11,800
		尻別	10,100	10,300
		(朱太)		
		(泊)		
後志南部		21,900	22,100	
南部	利別	26,900	27,500	
	相沼内	5,000	5,000	
	厚沢部	5,100	5,300	
	天の	5,700	5,800	
	檜山	42,700	43,600	
区計	64,600	65,700		
合計	150,800	147,900		

仮収容				遠別より
収容場	管内	管外	合計 (千粒)	
千歳市	34,000	2,150	34,000	34,000
千歳古平				3,400
計	36,150	0	36,150	
京極	8,900	12,900	21,800	3,900
真狩	13,200	31,000	44,200	1,000
寿都				17,900
新島牧		2,150	2,150	1,400
計	22,100	46,050	68,150	
瀬棚	43,600	0	43,600	20,500
相沼内				3,500
南檜山				6,100
上ノ国				13,500
計	43,600	0	43,600	
区計	65,700	46,050	111,750	
合計	101,850	46,050	147,900	

最終収容				遠別へ800
収容場	管内	管外	合計 (千粒)	飼育尾数 (千尾)
千歳市	34,000	4,400	34,000	30,000
千歳古平		3,400	4,400	4,000
計	41,800	0	41,800	37,000
神恵内				1,800
岩内	3,900	26,700	37,000	3,500
真狩	7,900	5,100	13,000	11,800
寿都		5,300	5,300	4,500
新島牧		4,300	4,300	4,000
計	22,100	41,400	63,500	57,800
瀬棚	20,500		20,500	18,000
相沼内		3,500	3,500	3,000
南檜山		6,100	6,100	5,400
上ノ国		13,500	13,500	12,500
計	43,600	0	43,600	38,900
区計	65,700	41,400	107,100	96,700
合計	107,500	41,400	148,900	133,700

飼育管理	
収容場	生産数 (千尾)
益田	3,000
厚田	2,000
千歳市	30,000
余市	6,500
古平	5,500
計	47,000
神恵内	2,300
岩内	5,500
京極	8,000
真狩	2,900
寿都	6,500
泊	6,200
千走	3,000
後志南部	600
計	35,000
嗣内川	800
馬場川	2,000
瀬棚	12,000
良瑠石	1,000
宮野小川	2,000
相沼内	8,000
貝取洞	2,000
檜山北部	2,200
姫川	1,000
厚沢部	8,500
天の	7,900
石崎	1,000
檜山南部	2,500
計	50,900
区計	85,900
合計	132,900

放流数	
水系	放流数 (千尾)
益田	3,000
厚田	2,000
千歳市	30,000
余市	6,500
古平	5,500
計	50,500
古宇	2,300
野尻	400
野東	5,500
別	7,000
朱太	6,500
泊	6,200
千走	3,000
後志南部	600
計	31,500
嗣内川	800
馬場川	2,000
利別	12,000
良瑠石	1,000
宮野小川	2,000
相沼内	8,000
貝取洞	2,000
檜山北部	2,200
姫川	1,000
厚沢部	8,500
天の	7,900
石崎	1,000
檜山南部	2,500
計	50,900
区計	82,400
合計	132,900

盃 200
 真狩 400
 虻瀬 100
 瀬棚 100
 鵜泊 2,000
 津花 500
 京極 五勝手 1,000
 小砂子 500
 南檜山 泊 500

平成30年度 サクラマス増殖事業計画（稚魚）

海区	地区	水系	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	仮 収 容				最 終 収 容				稚 魚 生 産 数 (千尾)	放 流 数		幼魚生産移行数	
					収容場	管内	管外	合計 (千粒)	収容場	管内	管外	合計 (千粒)		水系	放流数 (尾)	ふ化場	移行数 (千尾)
日 本 海 部	中 部 地 区 計	千 歳	130	130	千 歳	130		130	千 歳	130		130	110	千 歳 浜 益 勝 納 沖 村 古 平 美 国 余 別	60	千 歳	50
		余 市	120	170											36		
	地 区 計	250	300	区 計	130			130	区 計	130	0	130	110	区 計	96	区 計	50
南 部 地 区 計	珊 内	60	80	珊 内	110	170	280	珊 内	374		374	290	堀 株 古 宇 盃	58	珊 内	290	
	野 東	20	30										野 東				
	尻 別	1,560	1,950	尻 別	1,650		1,650	尻 別	1,100		1,100	960	尻 別	900	尻 別	320	
	朱 太			朱 太				朱 太	550		550	500	朱 太	500			
	千 走	450	630	千 走	630		630	千 走	536		536	404	折 川 大 平	39	千 走	189	
道 南	200	240	道 南	240		240	道 南	240		240	170	泊 千 走 馬 場 太 樽 白 別 見 市 相 沼 内 突 符 川 姫 天 の 石 崎	41 41	道 南	170		
地 区 計	2,290	2,930	区 計	2,630	170	2,800	区 計	2,800	0	2,800	2,324	区 計	1,579	区 計	969		
合 計	2,540	3,230	合 計	2,760	170	2,930	合 計	2,930	0	2,930	2,434	合 計	1,675	合 計	1,019		

八雲〜300

八雲から260

平成30年度 サクラマス増殖事業計画（幼魚）

海区	地区	生産場	稚魚収容数 (千尾)	幼魚生産数 (千尾)	0+秋放流数		1+春放流数		合計放流数							
					水系	放流数 (千尾)	水系	放流数 (千尾)	水系	放流数 (千尾)						
日本海	中部	千歳	50	40	千歳 勝納 余市 吉平	10	千歳 余市	30 65	千歳 勝納 余市 吉平	40 65						
											区計	10	区計	95	区計	105
											南	珊瑚内	100	75	堀株 古宇 盃	25
		尻別	230	220	尻別	80	野東 尻別	25 220	野東 尻別	25 300						
		千走	240	190	大平 泊		千走 馬場 太櫓 白別 見市 内 突符 部 石崎 青苗	150 14	千走 馬場 太櫓 白別 見市 内 相沼 内 突符 厚沢 部 石崎 青苗	150 14						
	道南	18	14													
	地区計	588	499	区計	80	区計	434	区計	514							
	合計	638	539	合計	90	合計	529	合計	619							

八雲から80